

9月4日（二学期始業式）

## 二学期のスタートに思うことあれこれ

夏が終わり、季節は秋です。夏の締めくくりの学校行事、体育祭が終わりました。見ている私たちも楽しい一日でした。本当にありがとう。雨雲がなぜか口之津や加津佐の手前で消えていくという奇跡も起こりました。あの時、グラウンドにいた全員のプラスのエネルギーが天に届いたのだと思います。天に届いたというと非科学的な話のようですが、実は運やツキは気持ちのいい場所に集まってくると言われています。周りにあの人は運がいいなという人はいませんか？ そういう人は、だいたいいつも笑顔で機嫌よく過ごしていませんか？ 逆に、マイナス思考の人のところには運やツキは寄ってこないと言われています。実は、運は人を選んでいるそうです。

以前読んだ本にこう書いてありました。運気を上げるには朝起きて「今日は何か気分がいいな」と口にするると運気が巡ってくるらしいです。また、ある企業では、採用試験での面接の最後の質問は「あなたは運がいい方ですか」と聞かれています。もちろん会社としては運がいい人を取りたいはずですが、運がいい人が集まれば会社全体の運気が上がりますからね。生きているといろいろあるけれども、笑顔で機嫌よく過ごして運を味方につけましょう。「眉間にしわではなく、目じりにしわ」でいきましょう。

3年生の中にはこの2学期に卒業後の進路が決まるという人も出てきます。すでに公務員試験を受けた人もいますね。受験は始まっています。先ほどの天気と同じように、運を味方につけるには、1、2年生も含めて、生徒、先生方が一丸となって、プラスのエネルギーで満たされるクラスや学年を作ってください。3年生で受験に面接がある人は、私も練習台ぐらいにはなれますので、是非来てください。

今、受験といいましたが、受験勉強と言う特別な勉強はありません。毎日受けている授業で学んでいることがそのまま受験につながっています。教科書に書かれていることが入試に出るんです。ですから、1時間1時間の授業を大切にしてくださいね。よく主要3科目とか主要5科目とか言いますが、主要って何？と思いませんか。受験科目だから主要科目、それ以外は主要ではないということでしょうか。おかしな話ですね。学校で学んでいる科目は全てが主要科目ですから、しっかり先生方について行ってください。

高校時代の学びは、主に教科書を使いながら学んでいます。教科書に書いてあることは、すでに分かっている事実とか、また先人たちが証明や発見した定理、法則、公式など、いわば“過去”を学んでいるようなものです。10代の後半を生きる皆にとって大切なことは、“過去”を学ぶことだけでなく、“今”の世の中を知り、自分の“将来”や社会の“未来”を考えることだと思っています。では、どうやって“今”を知り、“将来”や“未来”を考えるのか。一番いい方法は新聞を読むことです。一昨日の長崎新聞

に「歯科衛生士 不足」という大きな記事が掲載されていました。長崎で歯科衛生士が不足しているのを初めて知りました。こうやって“今”を知ることができます。その記事を読んで、自分が歯科衛生士を目指そうかなという人が出てくるかもしれません。それが自分の“将来”を考えるということです。みんなに質問をします。毎日、新聞を手取る人はどれぐらいいますか？ テレビ欄だけとかスポーツ欄は見るというだけでもいいです。毎朝、教室に新聞が届いています。恐らく全国の高校でこんな恵まれた学校はありません。せいぜい図書館に一部置いてあるぐらいです。もう一つ運がいいことに、口加高校はNIE(Newspaper In Education)の指定校になりました。「教育に新聞を」という取組はもともと、アメリカで始まり現在は70か国以上で取り組まれています。その取り組みを本格的に9月から本校でも始めます。

今、新聞が優れている点は大きく二つあります。一つは、「一覧性」です。つまり政治、経済、スポーツ、文化、様々な事件や出来事など、世の中の動き全体を短時間に俯瞰できるという点です。二つ目は「正確さ」です。ネット上ではウソか真か分からない情報で溢れかえっていますが、新聞は記者が現場取材し、記事に起こしています。この「一覧性」と「正確性」は、時代が変わってもどんなメディアも新聞にはかなわないと思います。

複数の新聞に目を通すと面白いことが分かります。どの新聞も同じニュースを同じように取り上げているわけではありません。どの新聞社にも主義、主張、考えや立場があります。例えば、2011年に東日本大震災が起こり、福島第一原子力発電で放射性物質が放出するという事故が起きました。それを機に原発反対派と原発推進派に世論は分かれました。原発反対のデモが起きれば、大きく取り上げる新聞社もあれば、ほとんど扱わない新聞社もあります。それだけで各新聞社の原発に対する考え方が見えてきます。

1、2年生はスクラップブックを活用してください。関心のある記事があったらスクラップして、自分の感想や意見を書くといいでしょう。3年生は自分の進路に関係のある記事に是非目を通してください。203教室にNIEの部屋を作っています。そこに全国紙である毎日、朝日、読売新聞、そして地方紙である長崎新聞を置いています。今週中に全員まず、足を運んでみてください。もっといい部屋にするためにアイデア募集中です。山内先生が担当ですので申し出てください。

これは私のスクラップブックです。見出しは「活水高校 4年ぶり全国大会へ」です。活水高校の吹奏楽部が九州の上位3校に入賞して、全国に出るという記事です。この記事に興味があったというよりは、なぜ強いのかという秘密を知りたかったんです。藤重先生という指導歴40年のベテラン先生が指導されています。もとは福岡の高校の先生で、部員数5名からスタートし、1年後には全国の常連校に育てられています。どういふ生徒が伸びるのか、今日は時間がありませんので、次の口加だよりでも書きますの

で読んでください。一言でいえば、鍵は「人間教育」です。演奏技術よりも挨拶とか整理整頓、話し方など、きちんとできる生徒が伸びていくことです。これは部活に限らず、学習など全てに通じています。

最後に藤重先生のことばで締めくくります。

「日常生活がきちんとしている生徒は、何をやってもしっかりしている。雑な生徒は伸びません。」

また一回り大人への階段を上る2学期にしましょう。